

2026年5月15日

神戸親和大学 授業評価アンケート結果
(2025年度)
【全学科統合版】

神戸親和大学 授業評価専門部会

アンケートの概要

1 目的

学生の授業に対する評価や意見及び要望等を把握することにより、学生の実態に合わせた授業改善に取り組むことを目的とする。

2 アンケート対象

原則全科目を対象とする（ただし、実習、海外研修等、実施形態が他の科目と異なるものは除く）。

3 調査方法および調査期間

各学期末に、Shinwa Smile.net を用いてオンラインで回答させる。2025年度の調査期間は下記のとおり。

学期	調査期間
2025年度 春	2025年 7月 14日（月）～2025年 8月 1日（金）
2025年度 秋	2026年 1月 6日（火）～2026年 2月 2日（月）

4 アンケート回答状況

2025年度の回答状況は下記のとおり。春学期の回答率より秋学期の回答率が低くなっている。またこの表には示していないが、学年が上がるにつれ、回答率が低くなる傾向がある。

実施時期	対象授業数	延べ履修者数	延べ回答者数	回答率
2025年度 春	521	17,663	7,460	42.2%
2024年度 秋	547	16,935	6,256	36.9%

5 アンケート項目（12項目からなる）

問1：欠席回数について

(①6回以上 ②4～5回 ③3回 ④2回 ⑤1回 ⑥0回)

問2：授業外学習時間

(①ほとんどしなかった ②30分程度 ③1時間程度 ④2時間程度 ⑤3時間程度
⑥3時間以上)

問3：難易度

(①易しかった ②やや易しかった ③適切だった ④やや難しかった ⑤難しかった)

問4：この授業のシラバスを読んだ

(①全く当てはまらない ②当てはまらない ③あまり当てはまらない
④やや当てまる ⑤当てはまる ⑥とても当てはまる ⑩不明・回答不能)

以下の問5～問11は、①を「全くそう思わない」、⑥を「とてもそう思う」として、6段階（①～⑥）で評価する。ただし「不明・回答不能」は⑩を選ぶようにする。

- 問 5 : 授業の進行について必要な情報が提供された
- 問 6 : 担当教員の教え方は適切であった
- 問 7 : 担当教員の一方的な授業ではなく双方向的な授業であった
- 問 8 : この授業の内容が理解できた
- 問 9 : わたしの授業態度はよかった
- 問 1 0 : 成績評価方法や成績基準について理解できた
- 問 1 1 : 担当教員からの質問（授業内で指示があった場合のみ回答）

問 1 2 : 授業についての感想・希望等（自由記述）

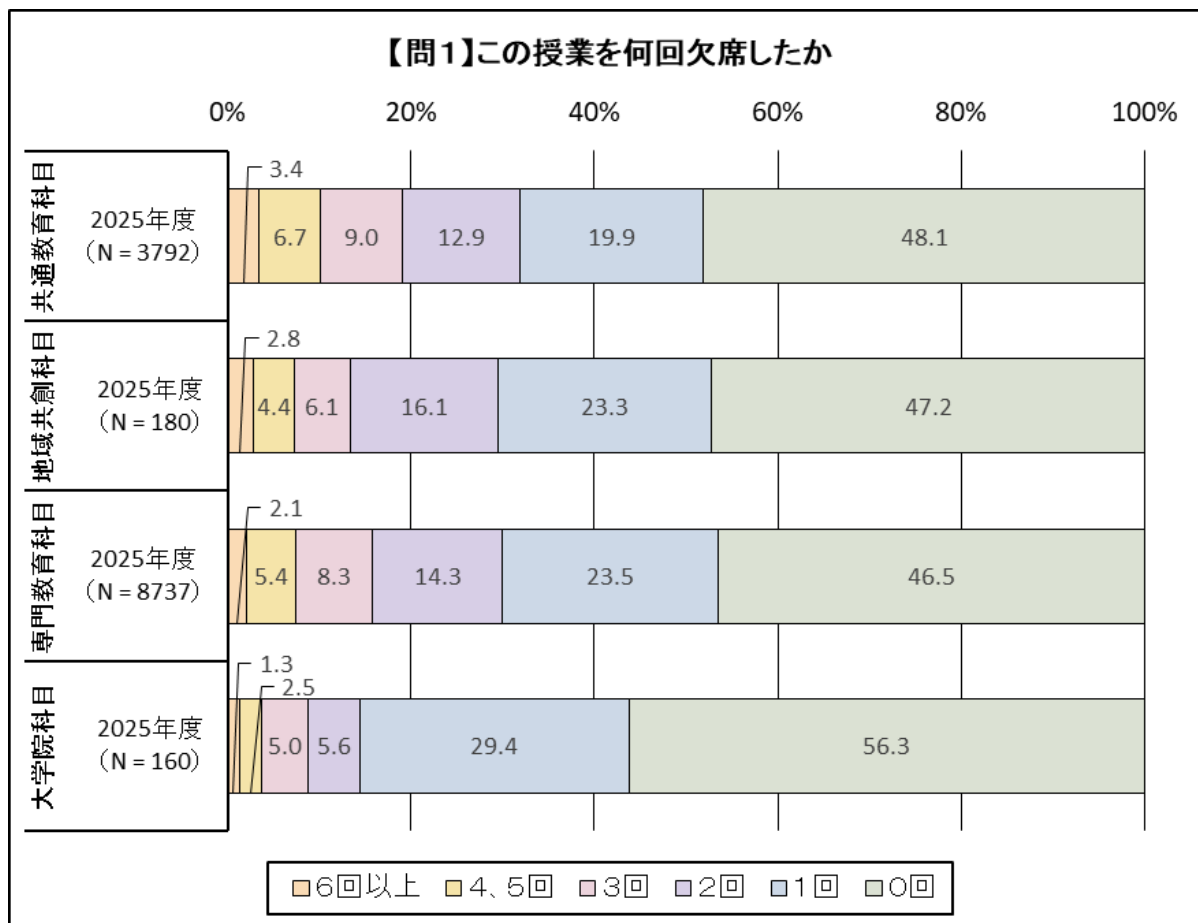
6 集計方法

本報告では、アンケート対象授業を「共通教育科目」「地域共創科目」「専門教育科目」「免許資格等科目」「大学院科目」の5カテゴリーに分け、それぞれのカテゴリーに関して問1から問10の単純集計を行った。なお、「免許資格等科目」は本報告では割愛している。

また、選択肢に換算値を付与し、有効回答における平均換算値を算出した。なお、問11は担当教員によって質問内容が異なり、また問12は自由記述回答であるため、これらの分析は本報告では割愛している。

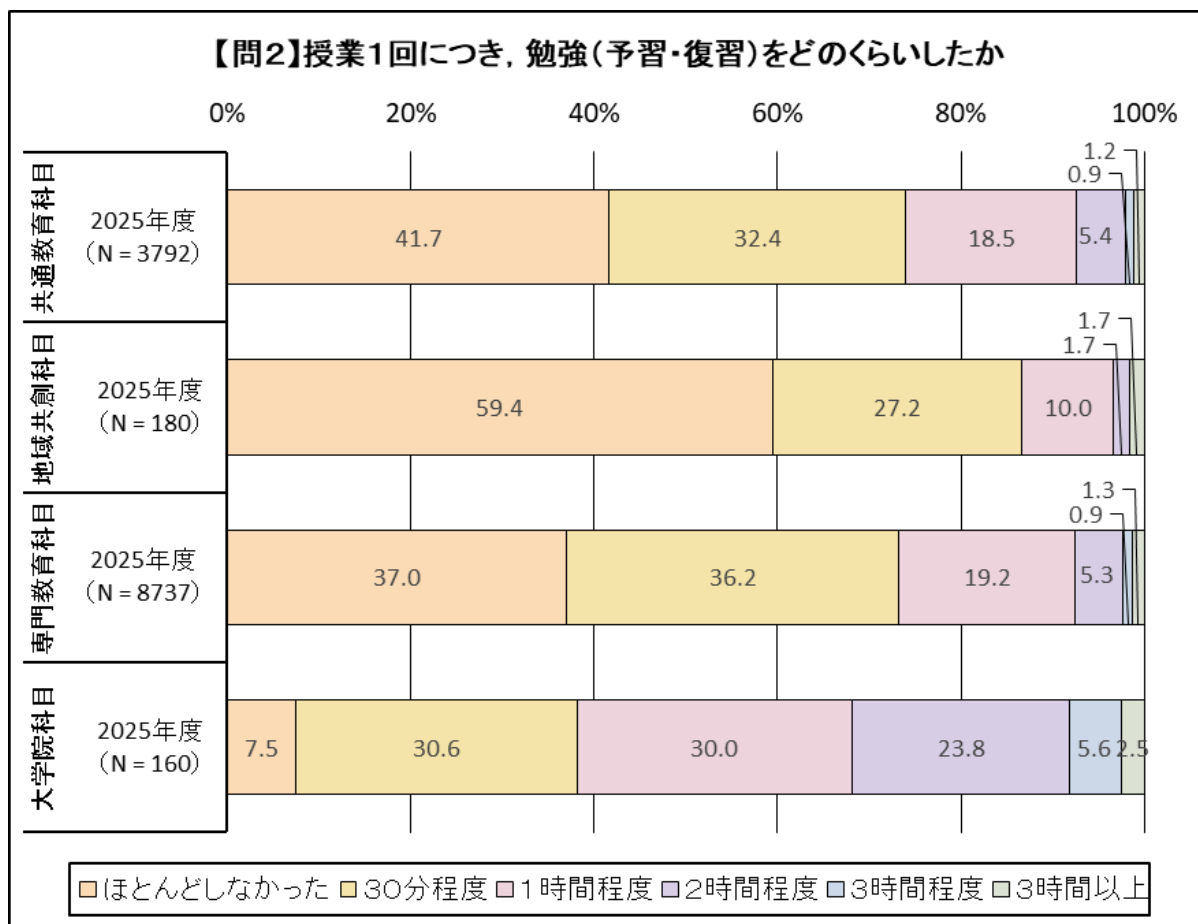
問1：この授業を何回欠席したか

- ・ 共通教育科目，地域共創科目，専門教育科目について，欠席数0回の割合が45%以上となっており，欠席数1回以下の割合が65%を超える。
- ・ 大学院科目については欠席数1回以下の割合が85.7%となっている。



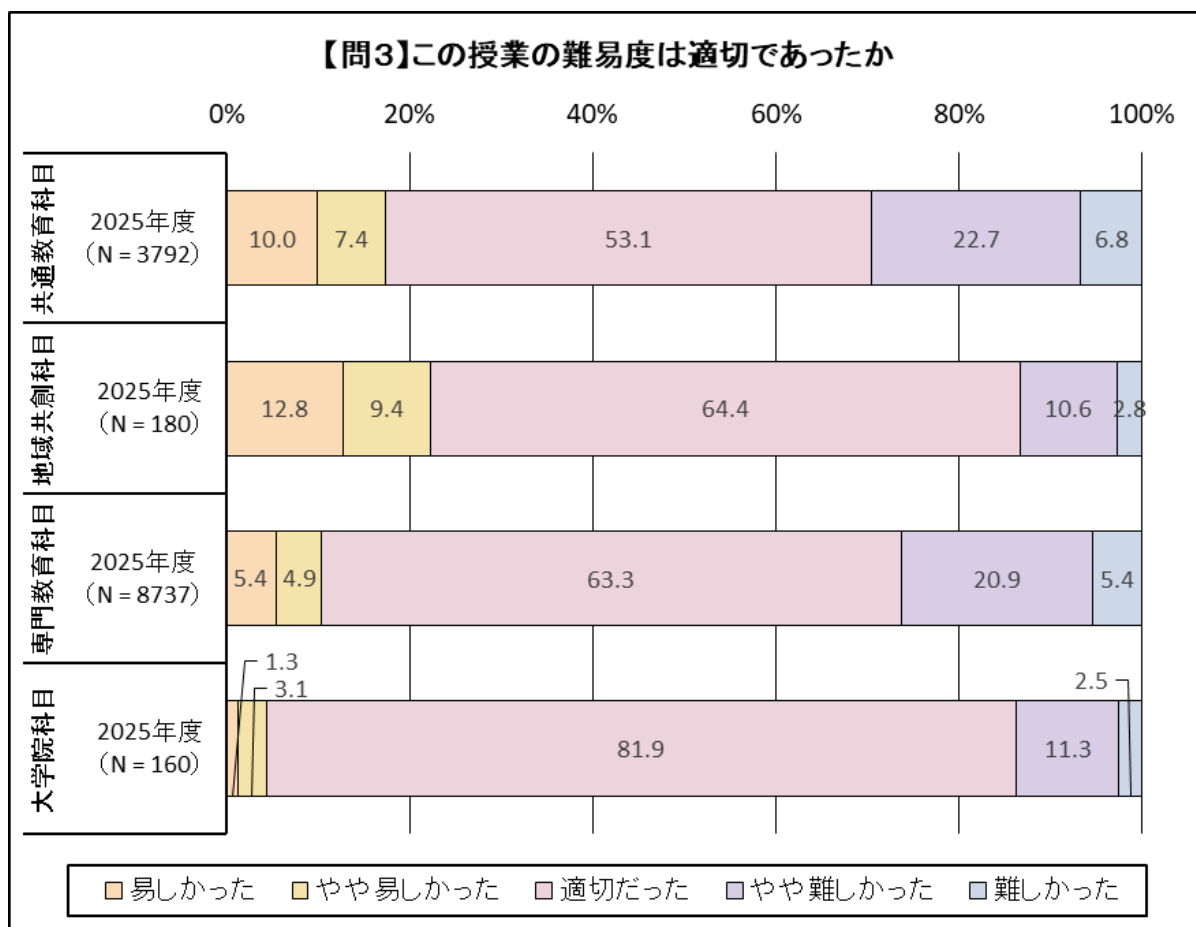
問2：授業1回につき、勉強（予習・復習）をどのくらいしたか

- ・30分以下の割合が共通教育科目で74.1%，地域共創科目で86.6%，専門教育科目で73.2%となっている。
- ・大学院科目については学部科目と比べて時間外学習の時間が増え，1時間以上が6割を超える。



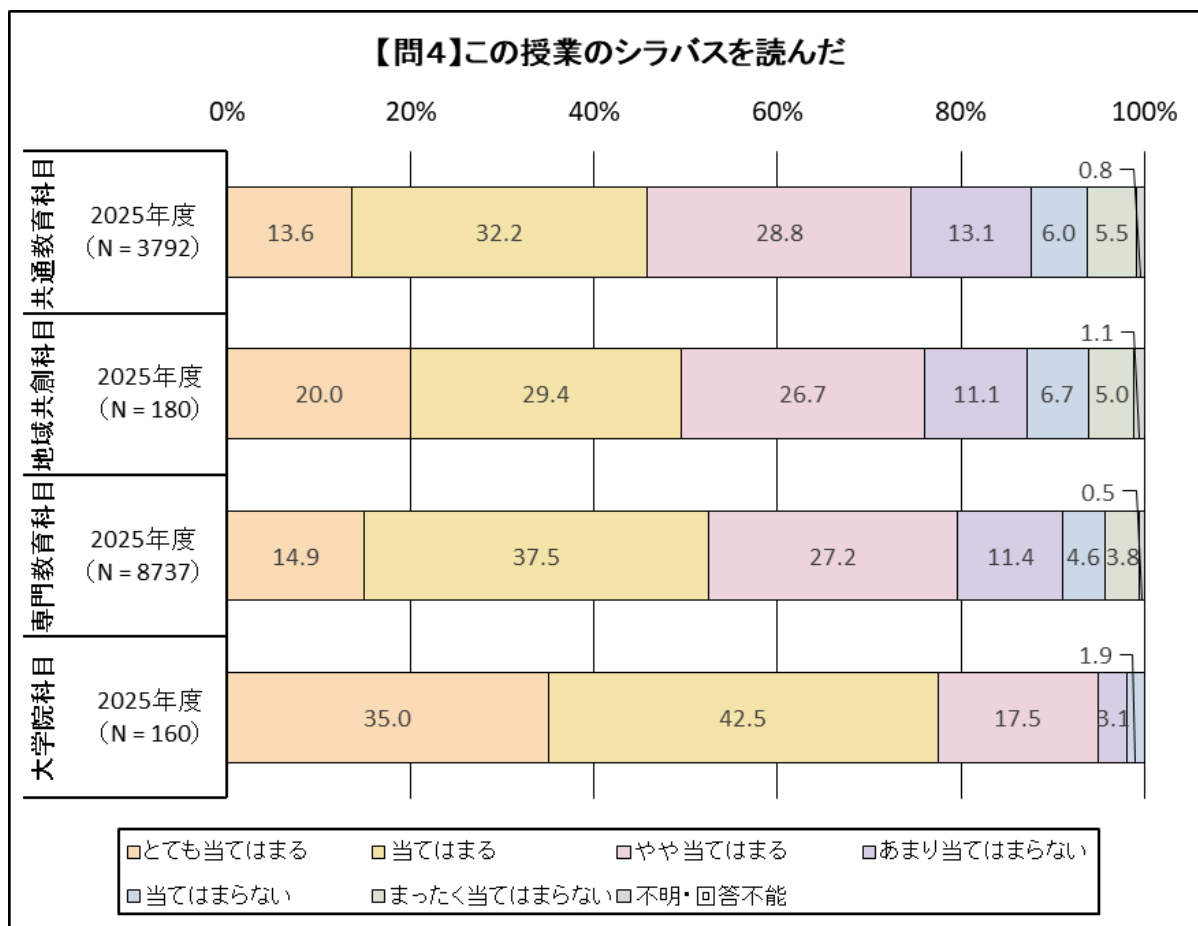
問3：この授業の難易度は適切であったか

- ・「①易しかった」もしくは「②やや易しかった」の割合が、共通教育科目で約17%、地域共創科目で約22%、専門教育科目で約10%であり、専門性が高くなると「易しい」と感じる割合が減少するが、その一方「④やや難しかった」「⑤難しかった」の合計は共通教育科目で3割、専門教育科目では約26%であり、専門教育科目の方が各自の興味関心との整合性が取れていると推測できる。
- ・大学院科目については「③適切だった」の割合が約82%となっている。



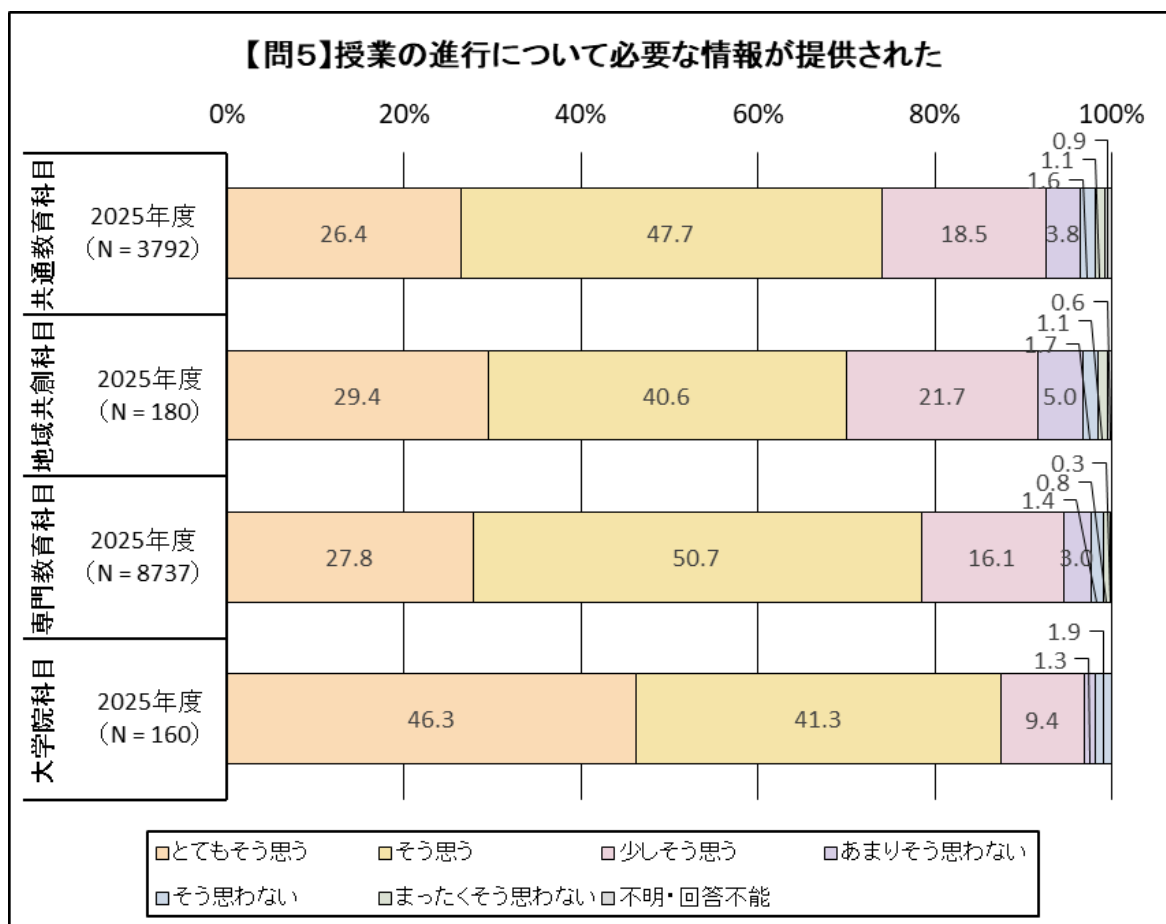
問4：この授業のシラバスを読んだ

- ・学部科目については「当てはまる」または「とても当てはまる」の割合が45%以上となっている。
- ・大学院科目については「当てはまる」または「とても当てはまる」の割合は77.5%となっており、大学院生の方がシラバス内容を確認してから授業に臨んでいる。



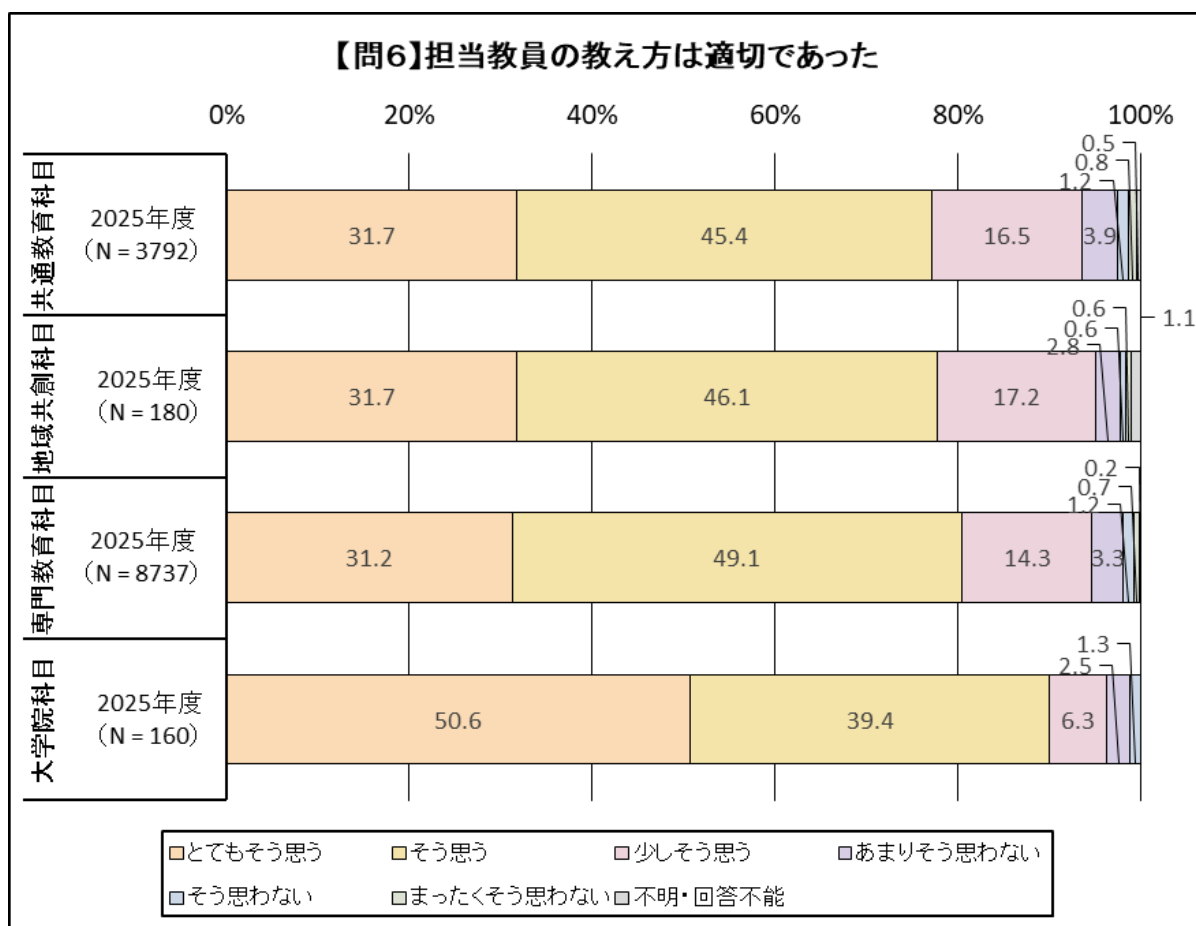
問5：授業の進行について必要な情報が提供された

- ・ 共通教育科目，地域共創科目，専門教育科目については「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が70%を超える。
- ・ 大学院科目については，「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が87.6%と高い。



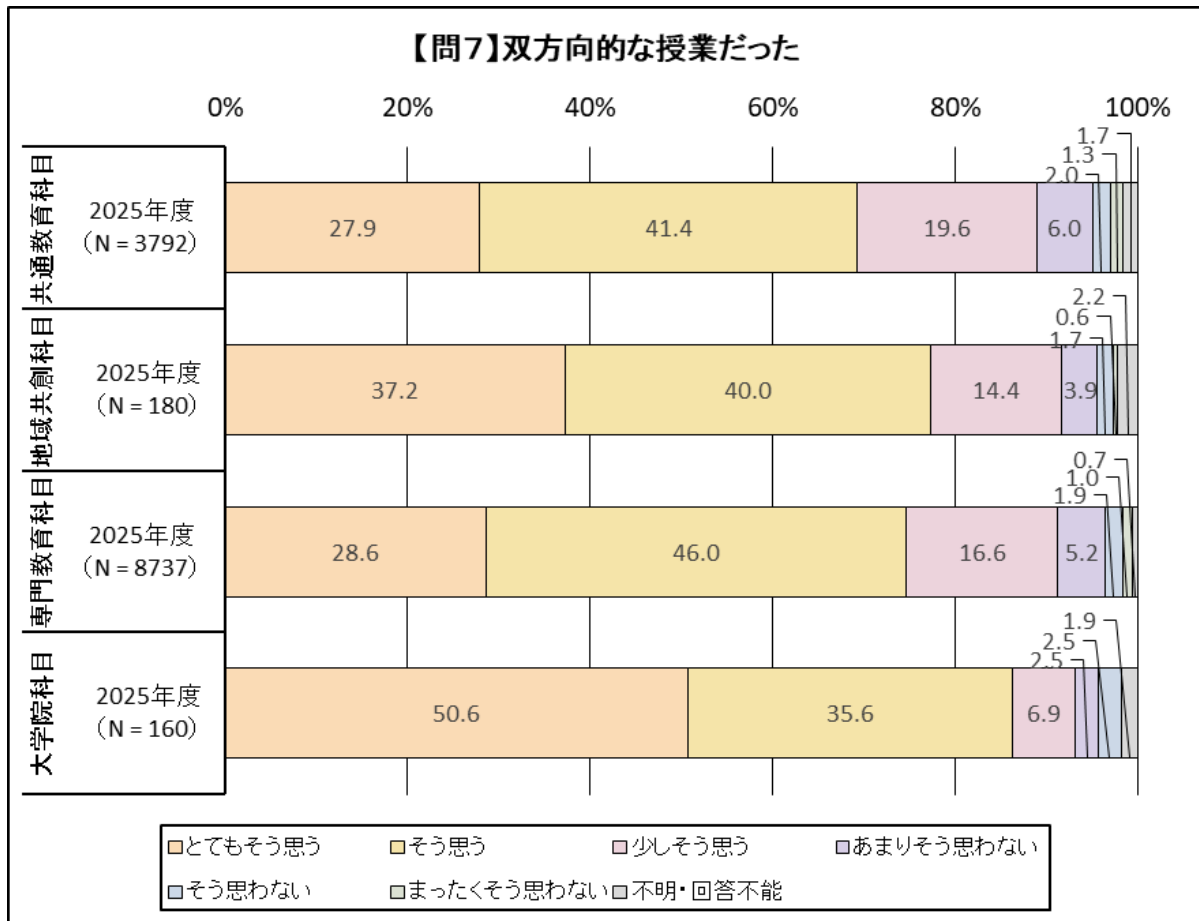
問6：担当教員の教え方は適切であった

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が共通教育科目で 77.1%，地域共創科目で 77.8%，専門教育科目で 80.3%となっている。
- ・大学院科目については「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が 90.0%となっているが、これは少人数での授業が多いことも関係していると思われる。



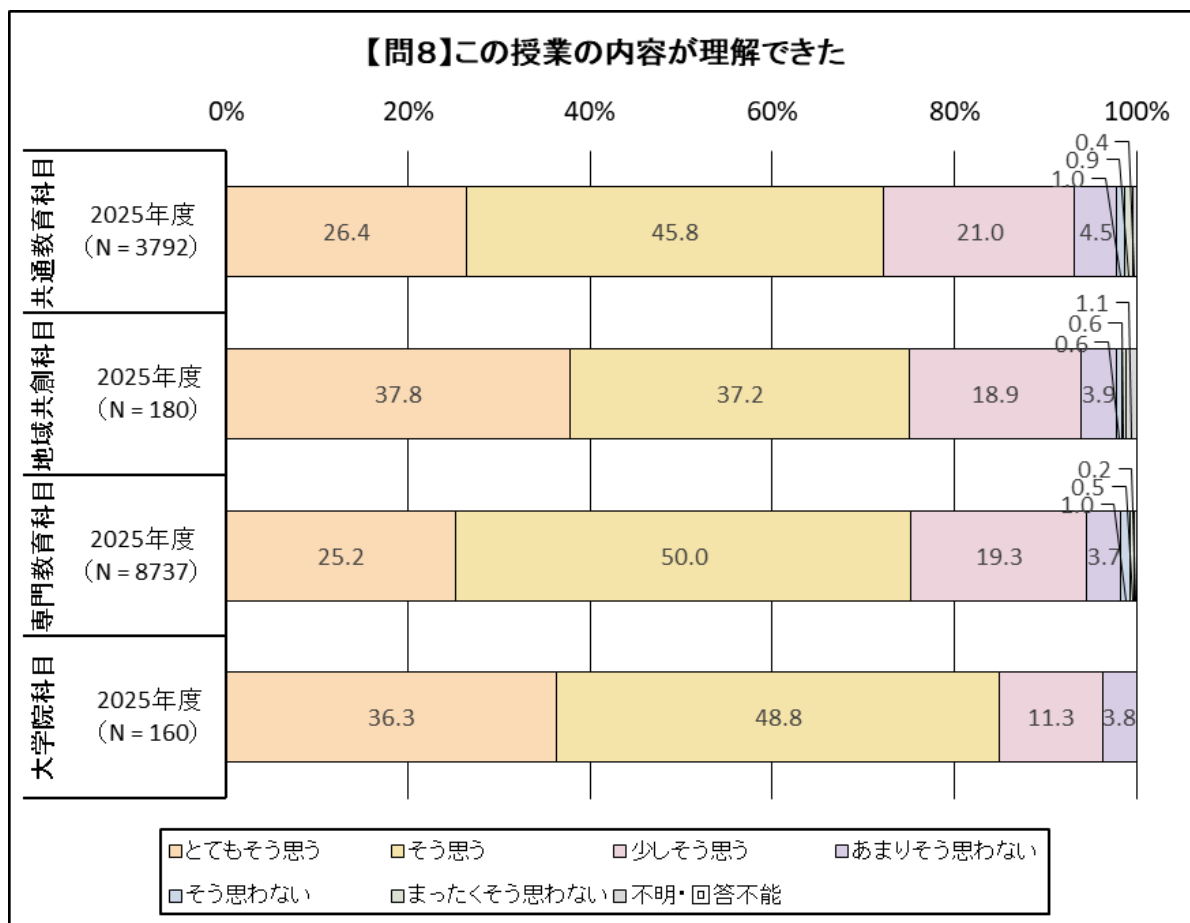
問7：双方向的な授業だった

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は共通教育科目で 69.3%，地域共創科目で 77.2%，専門教育科目で 74.6%となっている。
- ・履修者数が少ない大学院科目では「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は 86.2%を超えている。



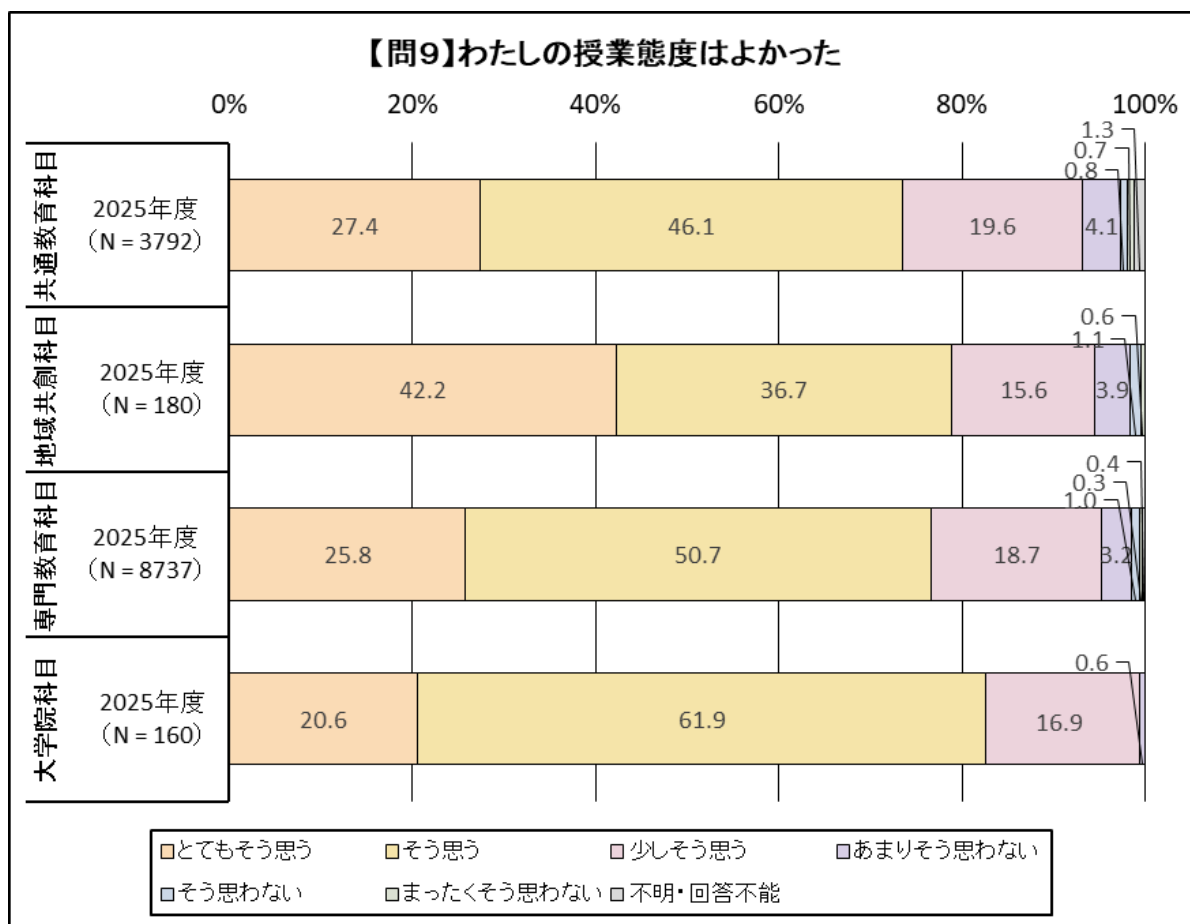
問8：この授業の内容が理解できた

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は共通教育科目で72.2%，地域共創科目で75%，専門教育科目で75.2%となっている。
- ・大学院科目では85%以上が「そう思う」または「とてもそう思う」と回答している。



問9：わたしの授業態度はよかった

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は共通教育科目で73.9%，地域共創科目，専門教育科目については75%以上となっている。
- ・大学院科目では「そう思う」または「とてもそう思う」が8割以上となっている。



問10：この授業の成績評価方法や成績評価基準について理解できた

- ・「そう思う」または「とてもそう思う」の割合は共通教育科目，地域共創科目で約75%，専門教育科目については約80%以上となっている。
- ・大学院科目では「そう思う」または「とてもそう思う」の割合が87.5%となっている。

